

第3次入間市地域福祉活動計画に関するパブリックコメント結果

入間市社会福祉協議会では、令和6年1月15日（月）から令和6年1月30日（火）までの期間で「第3次入間市地域福祉活動計画（原案）」に関して「パブリックコメント」を実施しました。その結果、2人の方から3件のご意見等が寄せられました。寄せられた意見等の概要と、それに対する本会の考え方は、次の通りです。

受付No.	ページ・項目等	意見等の概要	意見等に対する社会福祉協議会の方針
1	8ページ 圏域設定の考え方	「入間市では福祉圏域ごとに近隣助け合い活動推進会が組織されており、助け合い、支え合い活動が行われています。」と記載されていますが、圏域ごとにどのような成果があったのか、どのような課題があるのか、その課題をいつまでに解決するのかを具体的に記載してもらえると、もっと親しみやすい計画になるのではないでしょうか。入間市社会福祉協議会が、安心して暮らせるまちづくりを地域住民の皆さんと職員一丸となって目指す存在になるためにも、もう少し具体的に記載してください。	ご意見ありがとうございます。ここでは、圏域設定について説明することが目的のため、成果等については記載致しません。なお市内における支え合い活動団体数の変移については、50ページに記載しております。また85ページには、市内で行われている地域支え合い活動団体MAPを掲載しております。
	19ページ (2) 経営ビジョン	「先駆的取り組みを推進します。」と記載されていますが、どこの社会福祉協議会もやったことがない入間市独自の取組を行うのか、もう少し具体的に記載してください。	ご意見ありがとうございます。詳細については、本計画とは別途作成した「入間市社会福祉協議会中期経営計画」にて記載しておりますが、先駆的取り組みとしては、地域福祉活動を推進するための自主財源の確保策として、遺贈受け入れの取り組み、市内企業からの地域支援バナー広告の拡大等を考えております。今後本会ホームページにて公表します。
2	地域福祉計画28ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・年々高齢者や児童への虐待が増えており、社会福祉協議会として被害者への精神ケア、また加害者に虐待を辞めさせるため精神科医やソーシャルワーカー等専門職を配置し、虐待加害者への治療を行う必要があるのではないか。 ・虐待防止は、早期発見が大事だが、例えばソーシャルワーカーが訪問して早期発見につなげられるようなことは出来ないか。 ・虐待防止計画を主宰し警察や市役所連携し早期発見早期解決いくべきではないか。 	・虐待問題は深刻な問題であると受け止めておりますが、治療を伴うような専門職等の配置は考えておりません。但し加害者、被害者ともに相談がある場合にはソーシャルワーカーが話を伺うことは可能です。また必要に応じて行政等の関係機関と連携してまいります。